

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		ごみ収集事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	市民部	課長名 上山 幸顕
	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進		所属課	環境衛生課	担当者名 田中 奏子
	基本事業	22	リサイクルの推進		所属班	環境衛生班	(内線) 1144
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、合志市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
	1	4	2	1	10188		成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 1
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S60 年度) 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	昭和60年にごみ収集が組合から市に移管されたときに直営で収集を行うよりも経費の削減ができるということで開始した。ごみ収集業務を事業者へ委託し、所定の場所に排出されたごみを収集運搬する。ごみの分別の種類が増加した。(H18年度 15種類)人口増によりステーションの数が増加した。
【業務の流れ】	業者選定、見積り徴収、業者決定、契約事務、請求書受付、量の照合、支払事務、廃蛍光管収集用ダンボール箱設置、拠点収集所巡回整理、廃食用油巡回整理
【主な予算費目】	需用費、委託料、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	住民より拠点収集所を増加して欲しいとの要望がある。 住民より違反ごみが出ているとの通報がある。 議員からリサイクルボード、ストックヤード等の提案があった。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
業者選定、見積り徴収、業者決定、契約事務、請求書受付、量の照合、支払事務を行った。 廃蛍光管収集用ダンボール設置、拠点収集所巡回整理、廃食用油の巡回整理を行った。ごみ収集予定表を作成し市民に分別等の周知を行った。	21年度に同じ。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⇒ ア 支払事務件数 件 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
ごみ	⇒ ア ごみの量 t イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
排出されたごみを適正に回収することにより、快適で住みやすいまちを実現する	⇒ ア 適正に回収されたごみの量 t イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 排出されたごみを適正に回収することにより、快適で住みやすいまちを実現することに繋がるため、成果指標を「適正に回収されたごみの量」とし、近年の実績、人口増等を考慮し、目標値を「11,000t」と設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込	
④ 活動指標	ア	件	24	24	24	24	24	24	24	
	イ									
⑤ 対象指標	ア	t	12936	12728	13000	12551	13000	13000	13000	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	t	10953	10629	11000		11000	11000	11000	
	イ									
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	41,445	45,767	47,250	46,617	46,709	47,000	47,000
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	137,088	105,698	110,478	105,453	114,016	120,000	120,000
	(A) 事業費計	千円	178,533	151,465	157,728	152,070	160,725	167,000	167,000	
	(A)のうち指定経費	千円								
	(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	468	490	490	750	600	600	600	
	(B)人件費計	千円	1,858	1,960	1,950	2,985	2,388	2,388	2,388	
トータルコスト(A)+(B)		千円	180,391	153,425	159,678	155,055	163,113	169,388	169,388	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

事務事業名	ごみ収集事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	--------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正規職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度は、tのごみを回収した。家庭から出たごみを各地区のごみ一時保管所(ごみステーション)から処理施設へ収集運搬する委託業務、ごみ収集予定表の作成など、市民に対し分別の周知等も行った。またホームページにリサイクルボードを開設した。市民一人当たりのごみの量については、市民の関心が高く年々減少傾向にあるが、人口増に伴いごみの量も増加しているため分別を徹底し、さらにリサイクルを進める。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 分別を徹底することにより、さらにリサイクルを進められ向上余地あり。 資源循環型社会の構築を図り、効率的な収集に努める。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
削減			維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 分別を徹底することにより、リサイクルを進める。 例えば、可燃ごみの約4割を占める生ごみについて、水切りの徹底、ダンボールコンポスト等による処理等、紙類の資源物の周知徹底に努める。																						